

令和元年度 北海道・東北 体育・保健体育 ネットワーク研究会どさん子ラウンド報告



令和元年度どさん子ラウンドを北海道教育大学旭川校を会場に開催し、北海道内外から小学校、中学校、高等学校、大学の教員等が約30名が参加しました。

はじめに、どさん子ラウンドの世話人である北海道教育大学の古川教授から挨拶があり、どさん子ラウンドの経緯等についてもお話がありました。

【説明】講師 日本女子体育大学 教授 高橋 修一 氏

日本女子体育大学の高橋教授から新学習指導要領における評価の在り方について説明がありました。学習指導要領の改訂の方向性を踏まえて、学習指導要領の目標や内容と観点別学習状況の評価の観点の関連や児童生徒の学習評価の在り方等の説明とともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進についてアドバイスがありました。



【ワークショップ】講師 桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊 氏

ワークショップでは、はじめに、桐蔭横浜大学の佐藤教授から態度の深掘りをテーマに、態度の体系化や態度の形成などの説明とともに国内外の実践内容紹介がありました。



その後、佐藤教授の説明内容を踏まえて、各グループが小学校「バスケットボール」、中学校「サッカー」、高校「バレーボール」を選んで、単元構造図を作成しました。

最後に、各グループの取組内容を参加者全員で共有しました。

今回のどさん子ラウンドは、北海道教育大学旭川校の小出教授の協力の下、北海道第二の都市「旭川」での開催となりました。旭川市内だけでなく、北海道の北部や東部からの参加があり、初めての参加者が半数近くいました。情報交換会も大いに盛り上がり、どさん子ラウンドの目標を達成できたと思います。今後もネットワークの輪が広がることを願います。

